

# 住民の声

熊野浦地区を  
お訪ねしました！

熊野浦地区は、佐賀地区と鈴地区の中間に位置し、地区長によると戸数19戸、人口37人の集落で、65歳以上の方が30人ほどと、高齢化が進んでいるとのことでした。

お伺いした9月下旬には、緑豊かな風景の中、地域特産品の「熊野浦しおかぜミカン」と「ツワブキ」、曼珠沙華などが黄色や濃緑、真赤と彩りを添えていました。

は当地域ならではの特産品「天日塩」の製造所「ソルトビー」があり、頑張るスタッフの笑顔にも会えました。



▲光輝く地域の特産品「ツワブキ」の葉



▲「ソルトビー」のスタッフ(右端が渡邊区長)



▲色づいてきた「熊野浦しおかぜミカン」



▲海岸部で「天日塩」を製造している「ソルトビー」



▲地域の守り神「熊野神社」



▲東谷地区



▶西谷地区



▲地区内西側に位置する久保浦地区



当地区は戸数が少ないですが住民のまとまりが良く、正月10日の恵比寿祭りに始まり、6月10日の夏祭り、11月1日の秋祭りやそれに先立つ環境整備の出役、また、月1回の「ふれあいサロン」などの行事も住民の積極的な協力により無事こなしています。

渡邊春芳区長の声

当面の課題としては、当地区も少子高齢化が進んでおり、このため、現在の地場産業の後継者や新たに若者を呼び込むと共に、育てるための仕組みづくりはなどと模索をしているところでです。

議会や行政への一言ですが、地域の特色を生かすべく支え合い、頑張っている当地域の課題解決に向けて、より一層の取り組みをお願いします。

## 編集後記

9月には長雨と台風があり、農家の皆さんは収穫作業が大変だったろうと思います。

10月の秋晴れのある日、地籍調査(国土調査)のため山の中に入ると、荒れ果てた田畑が境界の調査と共に浮かび上がってきました。先人が長年にわたり手作業で開拓したであろう田畑がまるで遺跡のようになり、胸に迫るものがありました。

存続が危ぶまれる集落が14集落となった黒潮町。「人が元氣・自然が元氣・地域が元氣」のスローガンがかすまぬように町民の皆様と現実を共有し、町づくりに励まなくてはなりません。

(藤本岩義)

## 議会広報常任委員会

- 委員長 宮川 徳光
- 副委員長 藤本 岩義
- 委員 浅野 修一
- 同 池内 弘道
- 同 宮地 葉子
- 同 山崎 正男

黒潮町 議会だより・議事録は、黒潮町ホームページよりご覧になれます。

<http://www.town.kuroshio.lg.jp/>→黒潮町の紹介→議会→議会だより→バックナンバー

■発行人 高知県黒潮町議会  
■編集 黒潮町議会広報常任委員会  
■住所 高知県幡多郡黒潮町入野 2019-1  
■発行日 平成 28 年 11 月 1 日  
TEL(0880)43-2111(代)・(0880)43-2831(直)